

市民が次々足を止めた署名行動。16日、新潟市



町内すべて訪ねて160人超す

日本共産党新潟県委員会は16日、新潟市で戦争法廃止2000万署名の街頭宣伝活動を行いました。樋渡士自夫県委員長、にしざわ博参院選挙区候補、田

広げよう 2000万署名

新潟 各地で宣伝・対話

中眞一新潟地区委員長らが参加。多くの人が署名に立ち止まりました。

にしざわ候補は「若者を戦場に送らない思いを署名に託してください。立憲主義を取り戻す政府を実現しましょう」と訴えました。

県内各地で党支部の署名活動が広がり始めています。長岡市寺泊支部の支部長は2000人の支部目標の中、町内74軒をすべて訪問

し、署名を断られたのは「自分は改憲派」「政治に期待できない」という2軒だけ。1人で160人を超える署名を集めました。

十日町市では、党支部が空白の地域を訪問し、「家族は全員自民党。初めて共産党の署名をした。このことは家族に内緒にして」という人もいて、2人で58人分集めました。中

条支部の支部長は「これから雪が降ると訪問

できなくなるから」と、奥地から署名に入り130人分集めました。

糸魚川市では、党員が「赤旗」読者に家族ぐるみで署名を頼み、130人分集めたり、

金融機関支店長に40人分集めてもらったりするなど、市委員会は1000人の12月目標を突破しました。

阿賀野市安田支部も、自民党県議の地元を訪問するなど、毎週行動と集いと一体で300人集め、12月目標を超過しました。